



2001年09月06日

フォルクスワーゲン ニュービートル カップ ジャパン2001第四戦結果報告

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉)がサポートする、輸入車初のJAF(日本自動車連盟)公認ナンバー付きワンメイク レース、“フォルクスワーゲン ニュービートル カップ ジャパン 2001”(以下:NBCJ)の第四戦が、9月2(日) ツインリングもてぎ(所在地:栃木県茂木市)にて開催されました。結果はゼッケン55番、坂本祐也選手が、昨年の自己コースレコードを上回る1'48.684でポールポジションを獲得。見事に連勝を飾ったものの、シリーズ ポイントでは、ゼッケン77番、山本将之選手が四戦までの合計ポイントで105ポイントを獲得し、この時点で今年のシリーズ チャンピオンに輝き、ニュービートル カップ ジャパン二連勝を達成。昨年に引き続き、今年も10月14日(土)、ドイツ ザクセン州オッシャーズレーベンで行われる、ADACニュービートル カップ最終戦への参加権を手に入れました。

シリーズ第四戦が開催されたツインリングもてぎは、朝から晴れ渡り、秋を感じさせる爽やかな風が吹く中で行われました。今回の参加台数は合計24台。(うち2台は未出走) 予選、決勝がコンパクトにまとめられたワンデー レースの予選は早朝の9時前にスタート。各自ベストタイムを目指してアタックを開始した結果、ゼッケン55番、Team Duo Beetleに乗る坂本選手が、1'48.684のベストタイムでポールポジションを獲得。続く二位にはゼッケン99番 壺林選手(CRT New Beetle 1'48.990)が僅差で入り、三位には広島から参加のゼッケン33番 宮本選手(フォルクスワーゲン 広島ビートル 1'49.709)が上位を固める結果となりました。

同日午後1時、久しぶりに強い日差しが照り付ける中、今年の優勝争いをかけた決勝戦がスタート。「まるでスキー場のグレンデを滑り降りていくようだ。」と、選手が語るほど、深く落ち込んでいくストレートと、立体交差の暗闇が迫る、ほぼ直角となった第一コーナーへ、各車突き進んでいきました。一周3.422115km、10ラップを戦う今回のレースでは、壺林選手が一時、坂本選手をかわしトップに躍り出たものの、結果的には坂本選手が二位に4.852秒の大差を付ける力走を見せ、堂々の筑波に続く2連勝を飾りました。

しかしながら時既に遅く。第三戦までにシリーズ ポイントで首位を迫る二位の坂本選手に38ポイントの差を付けて、優勝へのマジックを点灯させていた山本選手も、「クルマのコンディションがベストではなかった。」とコメントしながらも、予選ポジションを落すことなく、始終クルマを気遣って最後までポジションを落すことなく走り抜き四位でフィニッシュ。この時点で、山本選手の2年連続優勝の悲願が達成されました。

VGJインターネット ホームページでは、ニュービートル カップ専用のアイコンがシリーズ期間中表示され、いつでも簡単にレース情報などをご覧頂くことが出来ます。 <http://www.vwj.co.jp>

第四戦 ツインリンクもてぎ決勝戦成績及び総合ポイント

New Beetle Cup Race Result at Tsukuba						
決勝順位	予選順位	ゼッケン	ドライバー	車名	決勝所要時間	累積ポイント
1	1	55	坂本祐也	Team DUO Beetle	18'26.965	82
2	2	99	壺林貴也	CRT New Beetle 1	18'31.817	58
3	3	33	宮本 新	フォルクスワーゲン広島ビートル	18'32.086	65
4	4	77	山本将之	D-Speed モデルビートル	18'36.230	105
5	6	36	藤島敏也	KABUKIYA Beetle	18'46.242	49
6	8	45	山口俊生	DUO群馬中央ニュービートル	18'49.205	12
7	10	5	橋澤 宏	SIG New Beetle	18'49.648	43
8	15	1	吉富 章	HEART-New Beetle	18'50.327	51
9	7	98	安井謙治	CRT New Beetle 2	18'56.240	17